県立串本古座高等学校 学校運営協議会

令和3年度 第1回 【7月2日(金)】

出席者:委員6名、傍聴人0人

議題

- ①委員委嘱
- ②会長選出

報告

- ①本年度の取り組み
- ②昨年度の取り組み
- ③地域協議会からの報告

主な内容

議題

- ①委員に辞令書交付
- ②会長が選任された。

報告

- ①本年度の本校への入学状況、令和2年度串本町・古座川町内小中学校の児童生徒数、令和3年度本校の基本方針、地域まるごとキャンパス構想について校長が説明。
 - 令和3年度本校入学生徒は89名(前年度60名)で、串本・古座川地域からは74名が入学した。
 - 串本町・古座川町内中学生は、現在3年生が95名、2年生が119名でここ数年は100名を超えるが、その後は減少していく。
 - 本校の教育方針に賛同し、地域を支え、社会に貢献していく意欲に満ちた生徒を求める。クリエイティブ、グローバル、アドバンストの各コースの特色に沿った学びを行う。地域の教育資源を活用し、地域と共に歩む学校とする。
- ②コロナ禍の影響、オンラインによる授業・行事等の実施、体育祭、文化祭代替行事、学習成果発表会の実施、令和2年度進学状況について校長が説明。
 - コロナ禍の影響で、5月末まで休校となる。6月15日から通常授業に戻る。
 - オンラインによる、石川県立飯田高校との交流授業、アジアオセアニアフォーラムの参加、地域みらい留学2020説明会を実施する。
 - 秋季クラスマッチを体育祭の代替行事として、秋季遠足、イルミネーション点灯、書道パフォーマンス等を文化祭の代替行事として実施する。
 - 令和2年度は、四大への進学が19名、短大・専門学校への進学23名、就職

28名だった。

③地域協議会発足からの活動経過と、情報発信等新たな役割についてコーディネーターが説明。

○地域協議会は平成27年8月に発足、5年を経過した。これまで全国募集の支援、魅力づくりの支援等を行ってきた。現在は、生徒の学力向上を目指して「くろしお塾」の運営に重点を置いている。新たな取り組みとして、「広報くろしお」を発行することにより、高校、地域協議会の取り組み状況等の情報発信をしていく。

以上の説明に対する各委員の意見

- ・先生は地域との繋がりが無い。それがここ5年で出来上がってきた。
- ・35名クラスになったのもこんな取り組みを評価してくれての事だと思う。
- ・串本古座高校の良さが、地元の人にも分かってきたのではないかな。
- ・地元中学生の串本古座高校への進学増について、分析はできているのか。
- ・タブレットが全員に行き渡るのはいつからか。使用する授業が決まっているのか。
- ・教師の数が少なくなった時には、リモートで専門的な授業をするようになるだろう。ますます独特な地域とのかかわりを持ったが学校が大事になってくる。